

2026年（令和8年）

「有機EL討論会」第43回例会

開催案内（参加および講演の募集）

11月12日(木), 11月13日(金)

会場：福岡市民ホール（福岡市）

1. 開催目的

有機ELに関する科学・技術の専門家の徹底的な討論を通じて、その学術・応用研究および実用化の一層の発展を図ることを目的とし、「有機EL討論会」第43回例会を開催致します。有機ELを支える基礎科学の研究、商品価値の高い製品を開発するための技術開発について、真剣な発表と討論を行います。

また、交流会の会場内では「オーサーインタビュー」も実施し、講演者と直接語り合える貴重な機会を設けます。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

2. 主催：有機EL討論会

共催：公益財団法人九州先端科学技術研究所

協賛：SID 日本支部

3. 日時：2026年11月12日（木）開場・受付 12:00, 討論会 13:00～18:00, 交流会 18:00～20:00 11月13日（金）開場・受付 9:00, 討論会 9:30～16:30

*時間は変更する場合があります。プログラム公開時に必ずご確認ください。

4. 会場 例会会場：福岡市民ホール（中ホール）

（福岡市営地下鉄（空港線）天神駅より徒歩 10 分）

〒810-0001 福岡市中央区天神 5 丁目 2-2 TEL 092-734-5570

交流会会場：天神モノリス

〒810-0072 福岡市中央区長浜 1-1-12 TEL 092-717-8866

*近隣ホテルが限られると予想されますので早めの予約をお勧めいたします。

5. プログラム構成

【特別講演】

- ・「Recent Progress in Inkjet-printed EL-QD Display」
／Samsung Display, CTO 直属 Corporate Vice President 田中 正信 氏
- ・「TADF：機構解明から高性能 OLED まで」
／九州大学 最先端有機光エレクトロニクス研究センター（OPERA）教授 安達 千波矢 氏

【特別セッション】《TADF の最新展開と産業化動向》

- ・「高色度化に向けた高性能 Hyperfluorescence™技術の開発と展開」
／株式会社 Kyulux CTO 川並 寛幸 氏
- ・「多重共鳴材料の最近の進展」
／京都大学 大学院理学研究科 教授 畠山 琢次 氏

【一般講演】

- ① 一般口頭発表（発表時間：講演 15 分，質疑応答 5 分）
- ② ショート口頭発表（発表時間：質疑応答なし 5 分）但し，応募件数により変更する場合があります。
- ③ 学生口頭発表（発表時間：講演 10 分，質疑応答 5 分）

【ポスター討論】

一般講演のいずれも講演終了後に、発表者が参加者と討論する場としてポスター討論を設けます。

【企業展示】

展示企業ブースを設けます。

【交流会】

1 日目の例会終了後に交流会を開催します。

交流会では、記念講演・特別講演を頂いた先生方とのオーサーズインタビューの機会を設け、発表や質疑応答の時間では十分に行えなかった、より深い議論や研究交流、産学連携へと発展する対話の場をご用意いたします。

6. 技術分野

6.1 有機ELに関する諸技術および応用

- ① 材料科学 ② デバイス ③ シミュレーション ④ ディスプレイ ⑤ プロセス技術 ⑥ 信頼性
⑦ 評価技術 ⑧ アプリケーション 等

6.2 新産業創出につながる新技術および応用

光変換システム、フレキシブルデバイス、有機センサー、太陽電池、光電融合 等

7. 例会の参加申込み

- ① 参加者（発表者、聴講者）は本会の正会員あるいは学生会員に限ります。会員でない方は、本会ホームページの「会員登録」に従い、会員登録の手続きを行って下さい。
- ② 有機EL 討論会ホームページに記載の「[第43回例会ホームページ](#)」から参加申込みをお願いします。（10月9日（金）受付開始）お申込み後には電子メールにより受付の自動返信を致します。返信が無い場合には、末尾の問い合わせ先までご連絡下さい。参加申込み期限は **11月2日（月）** です。
- ③ 例会の参加者は正会員 5,000 円（不課税）、学生会員は無料です。交流会参加者は別途、交流会負担金として 3,500 円（消費税込）頂きます。（学生発表者は交流会負担金は無料です）

※注意事項：

例会交流会共にお支払い完了後のキャンセルは受付けておりません。また、お支払い後の返金も一切できませんのでご了承願います。

- ④ 新型コロナウイルスの感染対策については、マスク着用、手指消毒は個人の判断に委ねさせていただきます。体調不良の際は感染防止上、ご自身の判断で参加を考慮して下さい。尚、今後の感染状況や政府方針により対応を変更する場合があります。ご了承下さい。

8. 一般講演の投稿要領

8.1 投稿資格

一般講演の投稿者は本討論会の正会員あるいは学生会員に限ります。

8.2 学生口頭発表

この分野を目指す学生への教育的な支援を目的として、学生口頭発表枠を設けています。口頭発表、質疑応答、ポスター討論を通じ、教育的観点から研究の背景、目的、結果、課題などを整理することで自らの研究の立ち位置を再確認してもらい、学生のモチベーションアップを期待します。

8.3 投稿締切

9月17日（木）

8.4 投稿先

有機EL 討論会第43回例会ホームページに記載の「[第43回例会投稿サイト](#)」よりご投稿をお願いします。

8.5 予稿原稿

A4 版 2 頁（図表を含む）の予稿原稿を PDF ファイルでご提出いただきます。論文が採択された場合は、予稿原稿がそのままの形でオフセット印刷（モノクロ）され、講演予稿集が作成されます。尚、投稿されたデータのまま正会員および学生会員に対して web 公開も致します。予稿原稿の書式は、HPに記載された「[講演予稿テンプレート](#)」の指定に従って下さい。なお、予稿原稿および講演は原則日本語とします。また、予稿原稿のアブストラクト部分はプログラム公開と同時に**（10月9日（金）以降）**に web 公開、予稿原稿全体は**11月5日（木）**から 1 か月間 web 公開する予定です。

8.6 投稿論文の審査

本討論会は審査（査読）制度を採用しており、投稿論文は下記の要件に基づいて審査致します。論文の内容が本討論会の目的に沿わない場合、採択されないことがありますので、予めご了解下さい。なお、ショート口頭発表・学生口頭発表を指定した投稿も受け付けます。一般口頭発表・ショート口頭発表・学生口頭発表ともにポスター討論の対象になります。

- ① 論文のオリジナリティーは必ずしも求めない。
- ② 論文内容は、本討論会において、十分に議論に耐える内容であり、かつ追試できる内容であることが望ましい。
- ③ 投稿論文は論文内容を審査した結果、一般口頭発表・ショート口頭発表・学生口頭発表、または不採択に分類する。

8.7 講演奨励賞、学生講演奨励賞

一般口頭発表・ショート口頭発表の中から、優れた発表をした会員に対して「有機EL 討論会講演奨励賞」が与えられます。35 歳以下の筆頭発表者を対象に、賞状および研究奨励金（20 万円）を贈呈します。投稿時に研究のアピールポイントを記載することができます。また、学生口頭発表の中から、優れた発表をした学生に対して「学生講演奨励賞」が与えられます。詳しくは、討論会 HP の表彰制度をご覧ください。

8.8 その他

- ① お申込み後には電子メールにより受付の自動返信を致します。申込み後に返信がない場合には、末尾の問い合わせ先までご連絡下さい。
- ② 論文採否通知は**10月8日(木)**までに電子メールでお知らせします。
- ③ 発表者の方についても聴講者と同様、討論会の参加申込みを行って下さい。

9. 情報の管理

9.1 予稿原稿の取り扱い

- ① 講演予稿集に記載された情報は、web 公開した時点で公開されたものとします。
- ② 講演予稿集に掲載された著作物の著作権の帰属および利用については、有機EL 討論会著作権取扱規程の定めに従うものとします。
- ③ 予稿原稿および講演申込内容に関する責任は、すべて著作者が負うものとします。
- ④ 投稿締切後の予稿原稿の書き換え、あるいは講演申込の取り下げは認めません。

9.2 本例会での情報管理

- ① 本例会での**録音および撮影は強く禁止します**。
- ② 本例会での発表、質疑応答、討論の内容については、主催者側が記録に残すことはなく、従って知的財産権の証拠の対象にはなりません。発言内容は自由であることを前提にしており、活発な討論を期待します。

=====

【問い合わせ先】〒816-8580 福岡県春日市春日公園 6-1 九州大学オプティカル・フロンティア棟 318 「有機EL 討論会事務局」
Tel/Fax: 092-591-2705 Email: office@yuki-tohronkai.jp HPURL: <http://www.yuki-tohronkai.jp/>